

# 麻生多摩美の森だより

麻生区市民健康の森 麻生鳥のさえずり公園

第19号 2007年12月31日発行 発行；麻生多摩美の森の会  
発行責任者；勝田 政吾 編集者；木村 信夫

## 里山の幸を楽しもう…07 植樹祭&収穫祭の報告 実行委員長 木村信夫

11月11日(日)は、天候が次第に回復していく好運に恵まれ、麻生区市民健康の森(麻生鳥のさえずり公園)で予定どおり開催。「あさお体験ウォーク」のメンバー約60名が立ち寄っていっしょにプログラムを楽しむなど、のべ230名もの参加で賑わいました。

開会式では太田麻生区長から激励のあいさつをいただき、作業説明や準備体操の後、グループに分かれて薪集め、清掃を行い、続いて、自然観察指導員の高橋英さんのガイドで、秋の森の観察です。写真集 Vol.4「多摩美の森 草木の実を楽しもう」を手に、赤い色で飾って鳥を呼ぶマユミの実、オオムラサキやゴマダラチョウ・テングチョウなど蝶の生息に欠かせないエノキ、ジョロウグモの知恵など、自然の姿に触れて感動的なひとときでした。植樹は、多摩自然遊歩道から市民健康の森への入り口付近に、ヤマボウシ、エゴノキ、イロハモミジ、サザンカを植え、子どもたちは木札に自分の名前を書いて根元にさして記念としました。

今年のメインテーマは「里山の幸を楽しもう」。活動の原点に戻り、「ふるまい」ではなく、1年かけて育て収穫した小麦・大麦・さつま芋・里芋、どんぐりや松かさなどの木の実などを、参加者全員で協力してさまざまに使って楽しむことがねらいです。焼き芋・茹で芋のほか、今年は小麦粉を使ったバウムクーヘンに初挑戦。子どもたちはもちろん親

からも大いに喜ばれて大人気でした。また、昔懐かしい大麦(はったい粉)を使った「麦こがし飴」にもたくさんの人がチャレンジしました。

木の実作品づくりでは、ペンダントや人形などすばらしい作品をつくり、記念に持ち帰りました。というように、楽しみのメニューは盛りだくさんで、担当会員自身が初めてのことも多く大変でしたが、事前研究・試作を重ね、当日は子どもたちの指導ぶりなど頼もしさが光りました。最後に、会員夫妻によるアルプホルンとクーグロックの演奏で、森をわたる美しい音色を楽しみました。

森の恵みでたくさんの楽しみができることを実感した1日。「これから1年森と畠を育てて、来年の収穫祭を迎えよう」と、多くの人の参加で森づくり・交流をすすめることを確かめ合いました。



大人気 多摩美の森産の小麦粉でバウムクーヘン作り

## 西生田小3年生 そば・麦の体験学習実施される

副会長 長澤

西生田小学校3年生の平成19年秋の総合的学習として、麻生市民健康の森で体験学習が行われることとなり、麻生多摩美の森の会が中心となって協力し、下記のように実施されました。

3年生176人が楽しく学習するために、大きく2分割し、それをまた2分割して、各テーマを学習する方式としました。

実施日時；9月27日（木）、28日（金）

9時45分～11時45分

学習内容；そばの学習 市民健康の森  
むぎの学習 小学校家庭科室

### 1. そばの学習

「そば処 襟」の広場に集合し、

プロのそば打ちを見学したあと、各班交代で玄そば挽き～そば切りまでを見学した。

そばの畑で、鎌を使いそば刈りを行った。

そばの実を収穫し、すり鉢とすりこ木で実を砕き、粉、胚芽、そば殻を篩い分けた。

最後に「そば茶」を試飲した。

そば打ち見学で、大きな包丁によるそば切りに感激。畑では恐る恐る鎌を使用。黒く三角のそばの実やそば殻について納得し、そば茶の香ばしさや美味しさに感動した。

### 2. 麦の学習

健康の森の畑で収穫した麦を持参し、

3種類の麦の名前当てクイズを行った。

3種類の麦・・・小麦、大麦（六条大麦）、ビール麦（2条大麦）の用途を学習。麦わらでストローを作った。

大麦を、フライパンで炒って麦茶作り。

自分達で作った麦茶を、麦わらストローで楽しく試飲した。

名当てクイズでは、大麦と小麦を間違え、正解発表に歓声上がる。麦わらがうまくちぎれず、ストロー作りに苦労した。大麦

炒りでは、煙がもうもうとして目が痛く暑さにグッタリしたものの、麦わらストローでの麦茶試飲は、満足満足でした。

昨年同様、会員のほか多摩美みどりの会のお母さん方など12名のサポーターの協力と多数の父兄の参加により、生徒に事故もなく終了できました。後日、生徒たちよりお礼のお便りが届きました。紙面の関係で一部を紹介します。

教えていただいた皆様へ

1. 私は、そばについて教えてもらって、そばのことがよくわかりました。私は家に帰って、これはこうで、あれはああでというて家ぞくに教えました。そば茶もおいしかったし、ゲンソバも見てこんな形なんだといういろいろ知りました。教えてくれてありがとうございます。よういするのにたいへんでしたよね？なのにわざわざありがとうございました。（K・Nくん）

2. 家でお店で買ったパッケージをあけるとまっ黒でした。わたしは、お店の麦茶より自分で作った麦茶が一番好きです。麦のストローは、すうと森に行ったような味がしました。つくっている時けむりがすごくて大変でした。フライパンがえしてくるくるまぜていたら“どばっ”とでてしまいました。まわりの人はふつうに持っていたのでびっくりしました。最後にみんなでのんだのはとってもおいしかったです。ありがとうございました。（M・Sさん）

3. ぼくは、はじめて大麦、小麦、ビール麦をしりました。ぼくの父、母に問題を出してみたら二人ともまちがえていました。麦をまぜる時もすごく楽しかったです。あと麦茶もすごくおいしかったです。ありがとうございました。（H・Nくん）

## 西生田小3年生 冬の森の学習

冬の森は、どうなっているのか、何があるか？野外学習が実施されました。3テーマを設け、初めの1講座は5クラス全員で、あとの2講座は、2分割で行いました。

実施日時；11月27日（木）

9時45分～11時45分

学習内容；木や草のタネの旅立ち

森の冬を写生しよう

ネイチャーゲーム（ビンゴ）

### 1. 木や草のタネの旅立ち

種の保存のために巧みな進化をしてきた植物のタネについて学習しました。自然観察指導員の高橋英さんによる興味深いお話で命の不思議が紹介され、児童たちの目もランランと輝いていました。

### 2. 冬の森を写生しよう

森といえば、緑豊かで小鳥もいっぱい状况を思い浮かべますが、冬の森はどのような姿をしているか、眺めてみようとして40分間挑戦しました、初めはさあ困ったという顔でしたが、何とか見つけたようでした。

### 3. ネイチャーゲーム(森のビンゴゲーム)

ミノムシはどこに？ コケのはえた木は？ チクチクする葉は？ などなど、4こま×4こまの西生田小学校オリジナルのビンゴゲーム用紙を手を持って、ところせましと森を探索しました。丸いドングリ、ありじごくなど、森のおじさんたちのアドバイスで見つけて、ビンゴができました。



## 多摩自然遊歩道沿い緑地の開発問題

会長 勝田 政吾

問題の場所は、遊歩道をはさんで市民健康の森のすぐ対面、読売ランド外周道路との交差点近くです。開発の看板は5月中頃に立てられ、1,327.83㎡に住宅を6戸建設の計画でした。市の総合調整条例によって近隣住民は事業主に対して要望書を提出できるが、その期限は6月6日とのことでした。この条例は一見住民に配慮した制度ですが、緑地保全の立場から見ると行政が余程しっかりして指導してくれない限り、開発側の意のままになりかねない危うさを含んでいます。当会は近隣町会とともに業者側に要望書を送り、さらに全面保全を求めて市長宛てにお願い書、市議会宛てに陳情書を提出することにしました。

多摩美町会始め近隣町会は周辺緑地の保全に熱心で、その運動は25年の歴史を持ち、遊歩道、市民健康の森、日本たんぼ保全地、さらには最終結果には至っていないものの多摩美ふれあいの森もすべてその成果です。今回の開発予定地は明らかに遊歩道（緑地保全地区）の一部なのですが、菅 早野線計画道路予定線が横切っていたため飛び地となってしまう、道路計画が事実上凍結となった後も手つかずで残されてしまったものです。

一方、外周道路は、ランド敷地内の農道の付け替え道路として建設されたものですが、計画が具体化してきた昭和63年から平成元年にかけて町会側と市が話し合いをして、近隣緑地に対して新設道路側からの開発が起ころぬように配慮し措置を行う旨の書面までもらい、市は道路沿いに数メートル幅の土地を取得してくれたのです。私たちは、今回の開発対象地もそれと同じように考えていたのですが、いつの間にか公衆用道路という地目になっていることが判明して、啞然としました。

市・市議会・事業主への働きかけとして、いずれも直近3町会、こもれびの会、みどりの会、当会の6団体で6月4日に書類提出しました。このうち市議会への保全の陳情については、これまでの経緯の記録等を資料として担当の環境委員に配り、懸命に説明やお願いをした結果、10月26日に趣旨採択となりました。しかし、これで行政がすぐ動くわけではないので、現在も働きかけをしています。続きは改めてご報告します。

## わたしの部屋

### アルプス紀行

大塚 伊四郎

かつて、ミラノ空港を目指す眼下に展開する山塊に圧倒されました。ハンニバルやカエサルが大軍を率いて越えたアルプスを間近に見たくて7月に出かけました。「予定の全山が姿を現わしてくれたのは当社では新記録です。」と引率添乗員まで上機嫌の旅でした。氷河の先端が絶壁から落下して立ち上る白煙と谷間に響く雷鳴のような炸裂音も旅を盛り上げてくれました。高齢者部隊の高地への順応のために、独・墺の山々を手初めに伊・仏・瑞を巡りました。高地では、おしゃべりや速足が過ぎるとすぐ息切れが始まり、モンブランを展望する富士山より高い台地では軽い眩暈もありました。

九州より狭いスイスの印象は以下の通りです。

耕地が少なく、急斜面まで牧草地として活用せざるを得ない。放置された荒地や見苦しい看板・幟旗もない美しい国である。

食糧難に起因する出稼傭兵は15世紀頃から本格化したらしい。列強間の戦が同国兵同士の間でもあった事から「血の輸出」と言われ、その悲劇の残映が今もバチカン宮殿警護に残っており、悲願の永世中立国へと繋がっている。既設核シェルターは全国民収容が可能とのこと。自転車で峠越えをしたり、大人を前に抱えてパラグライダーで目標に着地する大勢の若者に真の国防力を感じた。老若男女が至る処で拇指の運動ばかりしている某国とは基礎体力が違う。

EU加盟拒否は中立国且つ経済小国としての悩みからであるが、ユーロOKの店も多い。

周辺国に比べて歴史的遺産に恵まれないが、厳しい自然を観光資源として周年全世界から客を集めている。1871年に観光用登山鉄道開設が始まり(日本では翌年に新橋～横浜が開設)、アイガー(3,970m)、メンヒ(4,099m)を貫き、ユングフラウ(4,158m)の肩(ヨッホ)駅(3,454m)が1912年に開通している。鉄道・リフト・道路等のインフラは「ここまでやるか」と驚かされた。永世中立と観光立国のシステムとインフラの鎧をしっかりと纏っている国である。

## 今後の活動予定 副会長 平林謙三

寒くなって来ました。多摩美の森にも霜が降りるようになりました。これから冬の活動が始まります。皆さんぜひ奮ってご参加下さい。

活動日は原則として毎月第1土曜日と第3日曜日、当日雨天の場合は1週間後になります。補助作業日は第2、第4水曜日です。

作業時間は、5月末までは原則として10時～12時です。

- 1月5日(土) 新春の行事
- 1月20日(日) 樹木手入れ、下草刈り、麦踏み、炭焼きの準備等
- 2月2日(土) 樹木手入れ、下草刈り、健康の森交流会準備等
- 2月14日(木) 川崎市7区の健康の森交流会(担当川崎区、会場:ラゾーナ川崎プラザソル)
- 2月17日(日) 樹木手入れ、下草刈り、炭焼き準備等
- 3月1日、2日(土、日) 炭焼き(予定)
- 3月16日(日) 樹木手入れ、下草刈り等
- 4月5日(土) 樹木手入れ、下草刈り等
- 4月20日(日) 草刈り、畑の手入れ等

なお、補助作業日は1月9日、23日、2月13日、27日、3月12日、26日です。

また3月には関連行事として麻生区里山フォーラム(3月15日)、市民自治創造・かわさきフォーラム(3月1、2日)などがあります。

### 会員募集中です 貴方も仲間に

緑に包まれて森づくり、親子いっしょの作業や自然体験も楽しい。どなたでも加入できます。年会費1000円。体験参加も歓迎。上記の活動日において下さい。

麻生区のホームページで、市民健康の森を紹介、本紙のバックナンバーも見られます。  
<http://www.city.kawasaki.jp/73/73tis/miryoku/sanka/mori.htm>

### 皆さんの投稿、感想をお寄せ下さい。

問合せ、連絡先

勝田政吾 044-966-7409

木村信夫 044-954-7855

[kimura-yatsu@nifty.com](mailto:kimura-yatsu@nifty.com)